

## TS エージェントデータの表示

- •TS エージェントに関する情報の表示 (1ページ)
- •接続ステータスの表示 (3ページ)
- TS エージェントユーザ、ユーザセッション、および TCP/UDP 接続データの Firepower Management Center での表示 (3ページ)

## TS エージェントに関する情報の表示

ネットワークにおける現在のユーザセッションと、各セッションに割り当てられているポート の範囲を表示するには、次の手順を使用します。このデータは読み取り専用です。

- **ステップ1** TS エージェント設定インターフェイスの開始の説明に従って、TS エージェントをインストールしたサー バで、TS エージェント インターフェイスを開始します。
- ステップ2 [モニタ (Monitor)]タブをクリックします。次のカラムが表示されます。
  - [REST サーバ ID (REST Server ID)]: 情報を報告している Firepower Management Center または ISE/ISE-PIC サーバのホスト名または IP アドレス。ハイ アベイラビリティ設定を適用している場合、 この情報が役に立ちます。
  - [送信元 IP (Source IP)]: IPv4および/またはIPv6形式でユーザのIPアドレスの値を表示します。IPv4 とIPv6の両方のアドレスが設定されており、新しいセッションが作成されたばかりのときは、IPv4と IPv6の両方のアドレスが別々の行に表示されます。
  - [状態(Status)]: ユーザへのポートの割り当ての状態が表示されます。詳細については、接続ステー タスの表示 (3 ページ)を参照してください。
  - [セッション ID (Session ID)]: ユーザのセッションを識別する番号。ユーザは、一度に複数のセッションを持つことができます。
  - [ユーザ名(Username)]: セッションに関連付けられているユーザ名。
  - [ドメイン (Domain)]: ユーザがログインした Active Directory ドメインの名前。
  - [ポート範囲(Port Range)]: ユーザに割り当てられているポート範囲。(値0は、ポートの割り当て に問題があることを示します。詳細については、接続ステータスの表示(3ページ)を参照してく ださい)。

 [TCP ポート使用率(TCP Ports Usage)]および[UDP ポート使用率(UDP Ports Usage)]: ユーザごと に割り当てられたポートの割合が表示されます。割合が50%を超えると、フィールドの背景が黄色に なります。割合が80%を超えると、フィールドの背景が赤色になります。
 [ログイン日付(Login Date)]: ユーザがログインした日付。

ステップ3 次の表に、実行可能なアクションを示します。

項目	説明
列見出しをクリック	テーブル内のデータをその列でソートします。
	[ユーザ名でフィルタ(Filter by Username)] 検索 フィールドに、ユーザ名の一部または全体を入力し ます。
Ø	クリックすると、このタブページに表示されるセッ ションが更新されます。
Ł	TSエージェントに関する次のトラブルシューティン グ情報をテキストファイルとしてエクスポートしま す。
	•TSエージェント設定データを含む XML ファイ ル
	• netstat -a -n -o コマンドからの出力
	• Windows タスクリスト
	・実行中のドライバのリスト
ď	1 つ以上のセッションの横にあるボックスをオンに して、それらのセッションを Firepower Management Center に再ストリーミングします。これは、Firepower Management Center でユーザサービスが失敗した場合 に使用できます。
	たとえば、ユーザサービスが Firepower Management Center で失敗した後に、ユーザが TS エージェント サーバにログインするとします。このオプションを 使用すると、ユーザサービスの復元後にユーザセッ ションを再送信できます。これにより、そのユーザ の[ステータス (Status)]列に[成功 (Success)]が 表示されます。

## 接続ステータスの表示

TS エージェントがインストールされているターミナル サービスにユーザがログインすると、 新しいシステムセッションが作成され、このセッションにポートの範囲が割り当てられます。 その結果は Firepower Management Center または ISE に送信され、管理対象デバイスに配布され ます。

T[モニタ (Monitor)] タブ ページでは、ポートの範囲が Firepower Management Center または ISE に正常に送信されたかを確認することができます。プロセスが失敗する理由には、次など があります。

- ネットワークの接続性に関する問題
- 無効な VDI クレデンシャル
- トークンの期限切れ
- レルムに設定されたドメイン名が不正
- **ステップ1** TS エージェント設定インターフェイスの開始の説明に従って、TS エージェントをインストールしたサー バで、TS エージェント インターフェイスを開始します。
- ステップ2 [モニタ(Monitor)] タブをクリックします。
- ステップ3 [状態 (Status)] カラムには、次のいずれかの値が表示されます。
  - •[保留中(Pending)]:アクションは保留中で、まだ完了していません。
  - 「失敗(Failed)]:アクションは失敗しました。[失敗(Failed)]という単語をクリックすると、エラーメッセージが表示されます。エラーがFirepower Management Center との通信障害を示している場合は、TSエージェントに関する情報の表示(1ページ)の説明に従い、そのセッションのトラフィックを再ストリームしてみます。
  - •[成功(Success)]:アクションは正常に完了しました。

## TS エージェントユーザ、ユーザセッション、および TCP/UDP 接続データの Firepower Management Center での 表示

TSエージェントによって報告されたデータを表示するには、次の手順を使用します。Firepower Management Center の各種テーブルの詳細については、『Firepower Management Center Configuration Guide』を参照してください。

- **ステップ1** お使いのサーバがモニタするユーザをターゲットにしたレルムを設定した Firepower Management Center に ログインします。
- ステップ2 [ユーザ (Users)]テーブルにユーザを表示するには、[分析 (Analysis)]>[ユーザ (Users)]>[ユーザ (Users)]の順に選択します。TSエージェントのユーザセッションが現在アクティブである場合、Firepower Management Center は、[現在の IP (Current IP)]、[終了ポート (End Port)]、および[開始ポート (Start Port)]の各カラムに値を投入します。
- ステップ3 [ユーザアクティビティ(User Activity)]テーブルにユーザセッションを表示するには、[分析(Analysis)]>
  [ユーザ(Users)]>[ユーザアクティビティ(User Activity)]の順に選択します。TSエージェントからユー ザセッションが報告された場合、Firepower Management Center は、[現在の IP(Current IP)]、[終了ポート (End Port)]、および[開始ポート(Start Port)]の各カラムに値を投入します。
- ステップ4 [接続イベント (Connection Events)]テーブルに TCP/UDP 接続を表示するには、[分析 (Analysis)]>[接
  続 (Connections)]>[イベント (Events)]の順に選択します。Firepower Management Center は、[イニシ エータ/レスポンダ IP (Initiator/Responder IP)]フィールドに接続を報告した TS エージェントの IP アドレ スを、[送信元ポート/ICMP タイプ (Source Port/ICMP Type)]フィールドに TS エージェントが接続に割り 当てたポートを、それぞれ入力します。